



## 水産事業（一面よりつづく）「コン

セプシオン市場は、経済規模の点でも、ロマプラタ周辺と比較しても、より購買力のある首都アスンシオンへの進出を主軸に据え、シビアな反応でした。2026年度は、より購買力のある首都アスンシオンへの進出を主軸に据え、

準備を進める必要があります。

（滝川さん）

4. 商品展開の課題と、加工品への着手：首都アスンシオン市場や大手スーパーへの参入を目指す上で、課題となっているのが、商品ラインナップです。



●新拠点の冷凍ストッカー、計量器、保冷箱など。

こと冷凍商品（上の写真）が中心ですが、バイヤーからは「パクー単体では取り扱いを決めていく」との指摘を受けています。競合である大手養殖業者などは、パクーに加え、テラピア、魚のハンバーガー、やフライドポテト、鶏肉までを取り揃えており、その差は歴然です。

「パクー単体だけでの営業には限界があります。他の商品とセットで提案できるよう、早急にフィ

レ加工を導入し、調理の利便性

を高める必要があります。」

フレ加工には行政の許認可が必要ですが、これをクリアすることで、大手スーパーへの正式参入が可能になります。（滝川さん）

5. 新体制の確立、岩本さんの加入と2026年への展望：今後の事業拡大に向け、組織体制も強化されました。水産メンバーとして岩本さんが加わり、稚魚の孵化や日々の飼育管理を担当することを予定しています。

これまで製造から販売までを一

人で抱えていた滝川さんは、管理業務の一部を岩本さんに委ね、自身は営業活動や新規開拓に時

間とエネルギーを集中することが

可能になります。製造現場の安定と、営業の機動力を両立させる分業体制が整いつつあります。

また、2026年にはカルメロ・ペラルタとブラジルを結ぶ橋が開通する見通しであり、物流インフラの更なる向上が期待されます。

ブラジル市場への展開も視野に入れる中、アスンシオン進出にはス

ペイン語と車の運転ができ、パラ

グアイの商習慣を理解して営業

できる人材が不可欠です。

今後は、個人の行動力に頼る段

階から、ウェブサイトやSNS、

そして組織的な分業体制を駆使

した営業スタイルへの移行を進め

ていきます。現場を知る強みを活

かし、着実に事業の地盤を固めて

いきます。

ロマプラタ拠点の活用：岩本さん

を迎えた新体制、加工品の開発、

これら要素を組み合わせ、首都

アスンシオン、そして国境を越えた市場への定着を目指し実務的な取り組みを続けていきます。

ロマプラタ拠点の活用：岩本さんを迎えた新体制、加工品の開発、これら要素を組み合わせ、首都アスンシオン、そして国境を越えた市場への定着を目指し実務的な取り組みを続けていきます。

Q：金井さんの約2万ドルの支援

もあって、今回ロマプラタの拠点

が開設できるようになりました。

金井さんが支援をしてくださる

ことになつたきっかけは？

ロマプラタ新拠点（前面より続く）

金井さんは笑いながらそう話してくれましたが、スペイン語もまだよく話せない69歳の男性がたつた一人、不慣れな地で新生生活を始めるには相当の決意が必要なはずです。アスンシオンに居れば、パラグアイ事情に明るい佐野氏や石井君、島田ファミリーなどレダチームの面々、アクアムンド社のジョン佐藤ファミリーなど、日本人の知人が沢山います。路線バスも多く、車を運転しない金井さんでも、大きな不便はない。でも、のロマプラタではたった一人。本当に心細いのではない。しかし、金井さんは「創始者の韓総裁の今の身の上を思えばロマプラタは天国ですよ」と笑っていました。さらに続けて、金井さんは「なんとも話してくれました。



ロマプラタの新拠点には、広いリビング、貯蔵室、寝室、台所、駐車場等があります。

に、ブラジルのジャルジンに来られて「文総裁と共に計画した環境創造を絶やさず進めて欲しい」と切実に語られましたが、今世界中を見ても、私たちが目指す理想世界の1次産業、2次産業で「環境創造」をすべく具体的に動いているのは南米のレダしかないと思うのです。今のパクー養殖3万匹をもつと発展させ得ると聞いていますし、パクーの他にも商品ラインナップが増える予定です。水産商品の配送・流通を発展させる「ホールセール事業」の構想を考えるととても希望が湧いてくる場所だと感じます。このような事業興しのことは、二三三つとも思

てまわったそうです。レダ、アクアマンド、グアラニー伝道所、そしてジヤルジン。その中で、かつて総裁ご夫妻が計画した南米プロジェクトの存在を肌で感じ、自分たちはそのプロジェクトに貢献する役目があつて呼ばれたのだと悟るようになつていつたそうです。2024年、韓総裁をジヤルジンにお迎えする前、研修所の工事が急がれていました。工費が不足していることを知つた金井さんは、少しでも貢献したいと考えます。そして4月30日午前、送金を完了しました。同日午後、それまで極めて健康だった妻の由紀子さんが突然お亡くなりになりました。国康さんがどれほど悲しまれたことでしょうか。

金井さん夫妻が南米プロジェクトの要所を訪問した事は、「神様

の啓示を受けて日本から南米に移住した夫婦がいる」と報告されていたこともあり、総裁「夫妻が立ち上げた教団の中南米担当責任者の提案で、由紀子さんを送る葬儀は中南米33か国にライブ配信される大規模な行事になりました。葬儀では改めて金井さん夫妻移住のエピソードが33か国の人々に向けて語られました。金井さん夫妻には3人のお子さんがいて、「一人になってしまつたのだから日本に戻ってきてはどう?」と提案されたそうです。でも国康さんは「由紀子さんと2人で、南米プロジェクトに貢献しよう!」と誓った内容があるので、今はまだ日本には戻れない」と答えたそうです。

**夫婦一体**：何事も夫婦で一緒にやってきた金井さんは、靈界と地上と、居る場所が分かれても不思議な絆で繋がっているようです。南米プロジェクトに関するこ



さんが早朝の総裁。2024年7月  
祈りの中で「今後日本はどうなつてしまふの  
でしょうか?」と天に語りかけ  
ていたところ、「パラグアイに行け」という声  
が啓示の様に降りてきたそうです。由紀子  
さんは神様か

てまわったそうです。レダ、アクアマンド、グアラニー伝道所、そしてジャルジン。その中で、かつて総裁ご夫妻が計画した南米プロジェクトの存在を肌で感じ、自分たちはそのプロジェクトに貢献する役目があつて呼ばれたのだと悟るようになつていったそうです。2024年、韓総裁をジャルジンにお迎えする前、研修所の工事が急がれていました。工費が不足していることを知った金井さんは、少しでも貢献したいと考え

の啓示を受けて日本から南米に移住した夫婦がいる」と報告されていたこともあり、総裁ご夫妻が立ち上げた教団の中南米担当責任者の提案で、由紀子さんを送る葬儀は中南米33か国にライブ配信される大規模な行事になりました。葬儀では改めて金井さん夫妻移住のエピソードが33か国の人々に向けて語られました。金井さん夫妻には3人のお子さんがいて、「一人になってしまつたのだから日本に戻ってきては



ます。そして4月30日午前、送金を完了しました。同日午後、これまで極めて健康だった妻の由紀子さんが突然お亡くなりになりました。国康さんがどれほど悲しまれたことでしょうか。

金井さん夫妻が南米プロジェクトの要所を訪問した事は、「神様

不思議な絆で繋がっているようです。南米プロジェクトに関する話題は、霊界から由紀子さんが加勢してくれているのを強く感じながら日々を送られています。金井さんは夫婦の霊界地上界共同作戦がレダの新事業をも大きく後押ししてくれているのです。

『私の様にこのプロジェクトに興味を持つ人がいたら、ぜひその人と話して、一緒に参加してもらえるように勧めていきたいと考えています。よい人がいたらどんどん私も繋げてくださいよ!』と、金井さんはいつも精力的で、今日もロマプラタの拠点を守ってくれています。■

# 自然は常に変化している

昨年は草刈りに当たって完

## レダの電気屋さん

第31回



昨年末から気になっていたことがあります。レダには力ナシ(蚊難)という言葉があるほど、蚊に悩まされる場所でした。特に雨季は部屋の扉の開け閉めにも気を使いながら蚊がまとわりついてくるのが常態で、暑い中でも蚊に刺されないように長袖の着用が欠かせませんでした。

ところが今年の雨季は、全くと言つていいほど蚊がいません。私は朝の浄水場の点検時に少し草刈りをします。

自然の生態系を表現したイラスト (by GhatGPT)  
(山崎茂章)

全防備の蚊対策が必要だったのですが、今年は半袖で全く問題ないくらいです。また、昨年は大雨の被害道路が半年近く寸断されましたが、今年は雨季になつてもあまり雨が降りません。3年住んでいてもレダの気候はよくわかりません。川の水位でさえ1年周期にはつていらない様に感じます。これも、スケールの大きな大陸といつたことが、理由なのでしょうか?

私はよくわかりませんが、一つ言えることは、今の自然環境を初期値として、様々な相互作用があり、未来が創造されるということです。

来年はまた違った姿を見せてくれることです。

毎年新たな姿を現すレダの土地で、私たちも新たな姿に順応し、レダを創造して行きました。

自然は常に変化していく

## 次期編集長のひとり言

# Go! パクー30万匹まで

首都アスンションと  
レダを行き来する

(26歳)がレダへ出発。彼は養殖の経験者、水産を補強する重要なメンバーです。スペイン語もちょっとイケる!

▼また、岩本さんは川釣りを通して、文総裁の南米計画の精神を体得したいと自己紹介しています。当協会の活動もまだ小さな規模ですが、創始者の世界平和ビジョンに根を持つています。



レダにて、次期編集長。

▼韓総裁の祝福でスタートしている2026年となりそうですが、大変な年になりますよね。パントナール!

レダ計画も例外ではなく

物事には「いつまでも変わらない価値の事」と「いつまでもこだわらずに新たな創造に切り替えるべき事」の二つがあります。手段を見分けるには「大目的」が何かを決めるには「大目的」が重要だと思っています。手段と目的を取り違えないよう、絶対視すべく思ふものです。▼昨年11月にロマプラタの拠点が開設されました。これが水産の拠点としてだけではなく、

ダからの帰国ラッシュの中でも、

ラタに行くからまた購入したい」との連絡が入ったそうですが、在庫が足りず、販売はできなかつたとの事。ちょっと残念でしたね。▼適宜在庫を補充するには人材が必要です。やはり屈強な運び屋人材、トラック野郎がレダに必要です。菅原文太か愛川欽也か(古い!)。どこかに

ターナーに興味を持つ50代の見積もり! これ、「車クルフアン」やります! ▼パン

▼パンタナーの新ブランド名を、来月発表予定!(原田経史)

一般社団法人  
南北米福地開発協会 事務局

〒182-0021  
東京都調布市調布ヶ丘 2-15-1  
ビリアベルデ 407

電話: 042-449-0183  
メール: office@asd-nsa.com  
ホームページ: https://asd-nsa.com

## パンタナー通信 電子版 (Blog)



日・韓・西・英・  
ポの5か国語。  
スマートでもパソコンでもお読みいただけます。

## LINE公式アカウント

## レダの日常・日本の非日常

レダ現地の様子、プログラム・イベント通知・参加者募集案内などを配信します。



←友だち追加はこちらから。